



# 風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校

令和4年8月31日

## ～ レッツ トライ！！ 自分の学びへの挑戦 大谷翔平選手のお父さんの教えより～

校長 鈴木晶子

7月22日から始まった39日間の夏休みが終わり、相生小に元気な子供たちの声が響き渡っています。職員一同、子供たちの登校を心待ちにしていました。各教室の黒板に書かれた担任からメッセージを声に出して読んでいる子供たちはみんな笑顔でした。充実した夏休みになるよう御家庭で工夫してくださっていたことを子供たちの言葉から察することができました。



<1年生のお迎え黒板>

5・6年生は、3年ぶりにトビオ（浜松市総合水泳場）で開催された30分間回泳に参加しました。少しでも長い時間泳ごと一生懸命練習に取り組む態度や本番の粘り強さにはとても心を打たれました。さすが『風の子 太陽の子』です。

始業式では、大リーグで大活躍中の大谷翔平選手の小学校時代の話をしました。教えは強制的でなく、バッティングのヒントを与えるもの。大谷選手が自らの意思で、自身のバッティングを確立するためのきっかけ作りだったといいます。これは本校で行っている「主体的・対話的で深い学び」の実現に通じます。子供たちが自分の学びを進めていくことができるよう指導していきたいと思います。

### 【少年野球のコーチでもあったお父さんからの3つの教え】

- ①大きな声を出して、元気よくプレイする ⇒ 連携プレイやアウトカウントなどの確認作業を元気よく声に出して行う。コミュニケーションを大事にしてほしいという思いが込められていた。
- ②キャッチボールを一生懸命に練習する ⇒ 肩を温めるだけでなく、自分の意図するところ、狙ったところに投げるなど、キャッチボールの段階から意識を高く持って投げることを求めた。
- ③一生懸命走る ⇒ 野球は走るスポーツでもあるため、力を抜かずに最後まで全力で走ることを指導した。 ※コミュニケーション、課題対応、全力疾走は今もなお大谷選手が大事にしていることです。

また、夏休みにはWITHコロナの生活でも校内で子供たちが気持ちよくすこやかに過ごせるようにと、環境整備を行いました。子供たちが、裸足で遊んだり体育の授業を行ったりできるように、地域の方の御協力を得て中庭の芝生を張り替えました。さらに、全ての廊下には抗菌ワックスを塗りぴかぴかになりました。各階の洋式トイレの数も増えました。整然とした美しい校内、遊びや運動に親しめる環境を今後も作っていきたいと思います。



<芝生広場>



<ぴかぴか廊下>



<美しい花壇>



温かく  
かかわる力



自分を  
高める力



あきらめずに  
挑戦する力



夢をもち  
つなげる力



浜松市立相生小学校

キャリア教育を  
推進しています。